



戯曲『陽だまり 他一篇』 倉石 清志

ノスタルジア

雑貨屋を営むヤナは、今日も陽だまりの中、〈懐古〉に浸る。

ヤナとチェスをするために、ほぼ毎日彼女の店に通う友人ナタリア。

毅然たる態度で苦難を乗り越えるヤナの娘アンフィサ。

過去を解き放ち、未来へ歩もうとする陶芸家見習いの隣人ニコライ。

古びた小さな雑貨屋の日常の物語。

〈一冊の古書を買った男〉の帰り道での心の葛藤を描いた

短編一人舞台『帰宅途中での後悔』を併収。